

# 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症から市民の皆様を守るため、積極的な疫学調査ならびに健康観察をはじめ、PCR検査の実施や市立豊中病院での病床確保に努めてきました。

ワクチン接種では、市内270以上の医療機関のご協力のもと個別接種体制を構築するとともに、ワクチンカーの派遣やワクチンコンシェルジュの設置などの対策を講じてまいりました。

また、感染拡大の影響を受けた市民の暮らしや地域経済を守るために、各種給付金の支給やプレミアム付き商品券の発行などの支援も実施してまいりました。

医療従事者をはじめ、市民、事業者など、これまで感染症拡大防止にご協力いただいたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

苦境に直面し、なおかつ立ち向かっておられる市民の皆様と心を一つにして、この困難を乗り越える姿勢をお示すするため、私自身と副市長、教育長、上下水道事業管理者及び病院事業管理者の給与を削減いたしました。

コロナウイルスはまだ消滅したわけではありません。引き続き、各種支援やワクチン接種などに取り組んでまいります。

## 1.主な感染症対策

### ①感染症から市民の命を守る

- ・疫学調査（濃厚接触者を特定するための調査）
- ・クラスター対策
- ・健康観察
- ・PCR検査
- ・感染症総合コールセンターの設置
- ・市立豊中病院での病床確保 など

### ②ワクチン接種体制の構築

- ・ワクチン接種対策チームの設置
- ・市内270以上の医療機関による個別接種体制の構築
- ・集団接種会場の設置
- ・ワクチンカーの派遣
- ・ワクチンフライデー・サタデーの実施
- ・ワクチンコンシェルジュの設置 など

### ③市民の暮らし・経済を守る

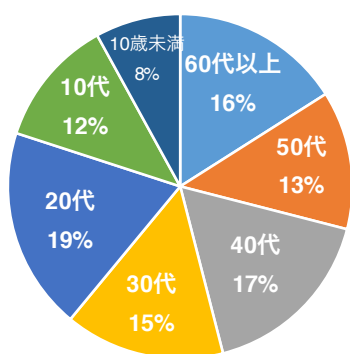
- ・子育て世帯等への給付金の支給
- ・とよなかっ子応援特別給付金の支給
- ・プレミアム付商品券の発行
- ・キャッシュレスポイント還元
- ・小規模事業者事業継続応援金の支給
- ・行政手続きのデジタル化の推進 など

## 2.感染状況

- 感染状況 (11月3日現在)

陽性者数	うち死亡者数
7,774人	85人

■年代別陽性者割合



### 3.個別支援策(市独自)

新型コロナウイルス感染症で影響を受けた市民や事業者の皆さんに対し、国の支援策とは別に、市独自支援策を講じました。また、医師会等と連携してワクチンの円滑な接種に努めました。

#### 〔市民対象〕

暮らしや子どもの応援策として、子育て世帯生活支援特別給付金（子育て世帯に対し5万円支給）やとよなかつ子応援特別給付金（児童1人につき1万円）などを支給しました。また、消費喚起策としてキャッシュレス決済ポイント事業（第1弾・決済額約16億5千万円、第2弾・決済額約33億2千万円）やプレミアム付商品券事業（第1弾・発行総額36億円、第2弾・発行総額52億円）を実施しました。

事業名	内容
キャッシュレス決済ポイント還元事業第1弾	キャンペーン期間中に、市内対象店舗で「PayPay」を利用して支払いをした場合に、支払金額の最大20%をポイント還元。キャンペーン期間：令和2年10月1日から10月31日
キャッシュレス決済ポイント還元事業第2弾	キャンペーン期間中に、市内対象店舗で「PayPay」や「d払い」を利用して支払いをした場合に、支払金額の最大20%をポイント還元（還元上限あり）。キャンペーン期間：PayPay：令和3年7月1日から31日まで。d払い：令和3年8月1日から31日まで
プレミアム付商品券事業第1弾	市内での消費喚起を目的に市内での買い物をお得に楽しめる商品券を発行。発行総額約36億円（6000円分の商品券を60万冊発行）。プレミアム率最大71%。利用期間：令和2年11月1日～令和3年1月31日

プレミアム付商品券事業第2弾	市内での消費喚起を目的に市内での買い物をお得に楽しめる商品券を発行。発行総額約52億円（紙の商品券(6000円分)とデジタル商品券(7000円分)を合計84万冊発行）。プレミアム率最大33%（ワクチン接種済者に対しては、デジタル商品券のプレミアム率55%）。 利用期間：令和3年12月1日～令和4年2月28日
事業名	内容
とよなかっ子応援特別給付金	外出自粛など不自由な生活を余儀なくされている子どもたちを応援するため給付金を支給。児童1人につき1万円を支給
就学援助の特例審査	令和3年1月以降に所得が減少した世帯を対象に、直近3カ月の給与明細書などから算出した年間見込所得が認定基準額を下回る場合、特例で制度の対象とし、就学に必要な学用品費・給食費を支給
保育施設等利用子育て世帯への副食費給付金	収入の減少など困難な生活を余儀なくされている保育施設などの利用世帯のうち、対象となる世帯に対して、副食費相当額（月額最大4,500円最長12カ月分）を支給
妊産婦等へのタクシー利用支援事業	妊産婦を対象に、通院などの外出に利用できるタクシーチケット（1万円分（500円×20枚））を配布
住居確保給付金受給対象者のうち、特に深刻な生活困窮者に対する給付金	住宅確保給付金受給者のうち、預貯金残高が3万円以下の方を対象に緊急支援金給付として世帯当たり3万円を支給
奨学費貸付金の特例審査	奨学費貸付金の審査は原則、前年所得の合計額により行うが、令和3年1月以降に所得が減少した世帯を対象に直近3カ月の給与明細書などから算出した年間見込所得が認定基準額を下回る場合、特例で制度の対象とし、奨学費を貸付
水道料金・下水道使用料の支払い相談	離職や収入減少などご事情をおうかがいして、支払い期限の延長や分割納付の相談を受け付け
市営住宅の一時避難住戸の提供について	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による解雇等により、住宅の退去を余儀なくされている方を対象に、市営住宅の空家を一時的に提供
介護保険施設新規利用者へのPCR検査費用の助成	介護保険施設等におけるクラスター発生を未然に防止するため、施設等の新規利用者に対し、入所時に受けるPCR検査費用を補助
高齢者任意PCR検査事業	高齢者の不安解消と新型コロナウイルス感染症の重症者の増加を抑制するため、感染すると重症化しやすいといわれる高齢者を対象にPCR検査を実施。1人1回まで。自己負担なし
高齢者のインフルエンザ予防接種の無償化	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を軽減するとともに、高齢者の重症化を予防するため、定期予防接種の自己負担金1,500円を市が負担

地域の人々を元気にする芸術作品等への助成	市民や地域を元気づける文化芸術作品の制作・発表や、文化芸術活動の実施などに要する経費の一部を助成。上限額：個人10万円、団体20万円
妊婦特別応援事業	感染症流行下の妊婦を応援するため、特別定額給付金の補完的位置づけとして、対象者1人につきギフトカード5万円を送付
子育て応援特別給付金	子育て世帯の経済的負担の軽減のため、3人以上の子を持つ世帯に3万円を支給（4人目以降1人につき1万円を支給）申請不要（ただし公務員は申請が必要）
事業名	内容
子育て世帯生活支援特別給付金	新型コロナウイルス感染症により収入が減少するなど、一定の所得水準以下の子育て世帯に対し5万円を支給
新型コロナ患者受入れ体制の拡充	市立豊中病院において新型コロナ感染者を受け入れるため、病床確保数を最大60床まで増床
緊急雇用対策	新型コロナウイルス感染症の流行により離職した人や内定取り消しを受けた人、また雇用に影響を受けた市内の在住・在学する大学生等を対象に職員採用
新しい生活様式のための地域福祉活動補助金	対面での見守りや交流会などが主であった地域福祉活動について、新しい生活様式に適應した整備を行うため、校区拠点へのタブレット端末設置等を支援
子ども食堂フードデリバリー事業	自宅で過ごす子供や収入が減少している家庭を支援するため、子ども食堂等の補助金を支給。さらに各家庭への食材等の提供を通じ、子どもの見守り体制を強化
成人式の分散開催	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、市内17か所の市立中学校と文化芸術センターでの分散開催を実施。各会場に参加できない新成人や保護者のために式典の模様をユーチューブでも配信
児童・生徒の支援	臨時休業による課題を抱える児童生徒の学習補助や校舎の消毒などを実施
配食サービス	自宅療養者を対象に、配食サービスを実施

### （事業者対象）

事業者支援策として、キャッシュレス決済ポイント事業（第1弾・決済額約16億5500万円、第2弾・決済額約33億2千万円）やプレミアム付商品券事業（第1弾・発行総額36億円、第2弾・発行総額52億円）に加え、小規模事業者応援金（一事業者あたり一律20万円）や売り上げアップ応援金（上限30万円）の支給などに取り組みました。

事業名	内容
-----	----

小規模事業者事業継続応援金	感染症拡大に伴い、深刻な影響を受けている市内の小規模事業者に対して、事業全般に使える応援金を支給（上限額10万円）
緊急雇用支援金	新型コロナウイルス感染症の影響により失業・離職した人を市の職業紹介により採用し3か月以上継続雇用している事業者に対し支援金を支給（正社員などの場合25万円）
豊中市福祉サービス継続を目的とした地域人材活用支援金	介護資格の有無を問わず、新規雇用した場合、労働者の報酬や実費経費の支援金を交付。また、長期雇用し、その労働者の介護資格取得にかかる研修費用の一部を交付
介護事業所負担のPCR検査等に係る補助金	事業者が負担したPCR検査などの自主検査に係る検査費用を支援（1人1検査につき上限1万円）
事業名	内容
介護サービス事業者等の感染拡大防止物品購入支援補助事業	感染拡大防止に資する取り組みの強化を目的として、介護サービス事業及び高齢者福祉施設の感染拡大防止物品購入費の一部を補助
障害福祉施設等の感染拡大防止物品購入支援補助事業	感染拡大防止に資する取り組みの強化を目的として、障害福祉サービス事業所及び障害児通所支援事業所の感染拡大防止物品購入費の一部を補助
障害児通所支援事業所職員への特別給付金	継続的なサービス提供を行う障害児通所支援事業所で従事する職員を支援するため特別給付金を支給
売上アップ応援金	新しい生活様式に対応した商品・サービスなどを導入する事業者グループに販路開拓や消費の喚起に要する諸経費を助成 ・売上アップ応援コース:上限額：30万円(1回限り) ・販わい創出応援コース:上限額：50万円(1回限り)
展示会等出展支援補助金	市内に本店所在地か主たる事業所がある中小企業者などを対象に、製品や技術、サービスを紹介する展示会や見本市などへの出展料（小間料）を補助（上限額：10万円（1回限り））
ITコンシェルジュ派遣	デジタル化・IT活用を進める市内事業者に、デジタル化をサポートするITコンシェルジュ（IT専門家）を派遣。（派遣回数）1テーマあたり1回。3テーマまで
オンライン面会支援事業	面会が制限される施設・病院などに入所（入院）している人と家族などがオンラインで面会ができるよう、施設・病院などにタブレット端末を貸し出し
テイクアウトやテラス営業などのための道路占用の緩和	豊中市と地域住民・団体等が一体となって取り組む沿道飲食店等の路上利用の占用許可基準を緩和
地域サポート応援事業	同感染症の拡大により困難を抱える人のサポートを目的とする事業に対して活動費および広報を支援

豊中市新型コロナウイルス対策信用保証料助成金	セーフティネット保証4号、5号または危機関連保証に係る事業資金の借入に対する信用保証料助成。（上限額：20万円、利用回数の制限なし）
医療・福祉等従事者宿泊費助成事業	市内の医療・福祉等従事者の方で、市内の宿泊施設等に宿泊した際の本人分の宿泊費の一部を助成。1人当たり1日3千円（上限）×20泊分（上限）
介護保険サービス事業所に対するサービス継続支援事業	新型コロナウイルス感染症にかかる介護サービス事業者のサービス継続に必要な増加経費を助成
豊中市産業活動助成金	市内に事業所を有し、市実施の消費喚起策（キャッシュレス決済ポイント還元事業・プレミアム付商品券事業）に参加している事業者を対象に、同感染症拡大防止のために店内で使用・設置するアルコール消毒液やマスクなどの購入経費の全額を助成（上限額：1万円）
事業名	内容
市内医療機関への慰労金の支給	新型コロナウイルス感染症の拡大防止・終息に向けて、患者との接触で心身に負担がかかるなか、強い使命感を持って業務を継続している医療関係機関（病院 医科診療所・歯科診療所・薬局）への慰労金を支給。1施設につき10万円を支給
介護保険・障害福祉サービス事業所等で従事する職員のための特別給付金	継続的な福祉サービス提供が求められる事業所で従事する職員を支援するための特別給付金を支給。給付額は事業所職員の常勤換算数または施設の床数に基づいて算定
豊中市小規模事業者応援金	一般消費者と対面サービスを行い、令和2年4月または5月の売り上げが前年同月比で50%以上減少している市内小規模事業者に対し、応援金を交付。（一律20万円。利用回数：対象者1者につき1回）
キャッシュレス決済ポイント還元事業第1弾【再掲】	キャンペーン期間中に、市内対象店舗で「PayPay」を利用して支払いをした場合に、支払金額の最大20%をポイント還元。キャンペーン期間：令和2年10月1日から10月31日
キャッシュレス決済ポイント還元事業第2弾【再掲】	キャンペーン期間中に、市内対象店舗で「PayPay」や「d払い」を利用して支払いをした場合に、支払金額の最大20%をポイント還元（還元上限あり）。キャンペーン期間：PayPay：令和3年7月1日から31日まで。d払い：令和3年8月1日から31日まで
プレミアム付商品券事業第1弾【再掲】	市内での消費喚起を目的に市内での買い物をお得に楽しめる商品券を発行。発行総額約36億円（6000円分の商品券を60万冊発行）。プレミアム率最大71%。利用期間：令和2年11月1日～令和3年1月31日

プレミアム付商品券事業第2弾【再掲】	市内での消費喚起を目的に市内での買い物をお得に楽しめる商品券を発行。発行総額約52億円（紙の商品券(6000円分)とデジタル商品券(7000円分)を合計84万冊発行）。プレミアム率最大33%（ワクチン接種済者に対しては、デジタル商品券のプレミアム率55%）。 利用期間：令和3年12月1日～令和4年2月28日
ごみ処理施設使用料 減額特例措置	厳しい経営状況が続いている事業者などを支援するため、令和3年3月31日までごみ処理施設使用料を減額（10kgごとに105円→87円）
公共交通事業者支援事業	市内に営業所を持つバス事業者およびタクシー事業者が感染症予防に要した費用やバス事業者に対し、3密を避けるための輸送量確保に要した費用を支援

### （新型コロナウイルスワクチン接種対応の主な取組み）

ワクチン接種対策チームを立ち上げるとともに、基礎疾患、高齢者施設等従事者に加え、市内の保育・学校関係従事者など市独自基準を設け優先的に接種券を発送しました。また、医師会等の全面的な協力を得て、市内約250の医療機関において個別接種を促進するとともに、高齢者や障害者・外国人を対象とした集団接種を実施しました。さらに、ワクチン接種を加速させるために、ワクチンカーの派遣やワクチンフライデー・サタデー（金曜日の夜と土曜日にワクチン接種）などに取り組みました。

項目	内容
ワクチン接種対策チーム設置	令和3年1月5日設置。健康医療部保健予防課所管
とよなかワクチンダイヤル開設	令和3年3月1日設置。ワクチン接種に関する問い合わせへの対応や接種予約の受付など。
市独自基準による接種券の発送	クラスターの未然防止や予約時の混雑回避等の考え方により、基礎疾患、高齢者施設等従事者に加え、市内の保育・学校関係従事者、消防従事者を対象に優先して接種券を発送
個別接種体制の構築	医師会の全面的な協力のもと、約250の医療機関において個別接種を促進
妊婦等のワクチン接種予約調整専用窓口の設置	母子の健康を守るため、接種を希望される妊婦の方とそのパートナー、同居者を対象に、速やかに接種ができるよう予約調整を行う専用窓口を設置
ワクチンカーの運用	ワクチン接種を加速化するため、医師・看護師・運営スタッフが乗った自動車を指定された場所に派遣し、自動車の中でワクチンを接種
ワクチン・コンシェルジュの設置	市民が登録した情報（接種希望地域・日時等）を基に、市が条件に合う取扱医療機関を探し予約を代行。

集団接種の実施	走井・原田南各学校給食センターをはじめ、庄内体育館やとよなか国際交流センターなどで集団接種を実施。また、高齢者、障害者、外国人を対象とした集団接種も実施
シャトルバスの運用	集団接種会場（走井・原田南学校給食センター）へ直通のシャトルバスを阪急バスと協働して運用
豊中市通所系サービス事業所における新型コロナウイルスワクチン接種支援協力金	市内の通所系のサービスを提供する事業所の施設内でサービス利用中にワクチン接種が受けられるよう支援を行った事業所に対して協力金を支給
個別接種予約システムの構築	個別接種取扱医療機関での予約受付時の負担軽減と予約の円滑化を図るために、LLINE・WEB・専用ダイヤルでの受付体制を構築
大学生によるワクチン接種システムの操作支援	取扱医療機関から寄せられる端末利用の初期設定や操作の不明点などの問い合わせを学生ボランティアがサポート
ワクチンフライデー・ワクチンサタデー	若い人たちが接種しやすいように、金曜日の夜または土曜日の午前中に市役所でワクチン接種を実施。
項目	内容
ワクチン一時保育	小さなお子様がおられる方が安心して接種していただけるよう、接種後の副反応に備え、各市立こども園において一時保育枠を確保
ワクチンU-19	受験や課外活動等に備え、10代の方を対象にワクチン接種を実施
豊中市介護保険・障害福祉サービス等の利用者に係る新型コロナウイルスワクチン接種支援協力金（予約支援・同行支援）	介護保険・障害福祉サービス利用者のワクチン接種に係る予約支援またはワクチン接種を行う医療機関、接種会場等への同行支援を行った市内のサービスを提供する事業所に対して協力金を支給
豊中市通所系サービス事業所における新型コロナウイルスワクチン接種支援協力金	市内の通所系のサービスを提供する事業所の施設内でサービス利用中にワクチン接種が受けられるよう支援を行った事業所に対して協力金を支給

■年齢区分ごとのワクチン接種状況（2回目接種率）

（10月31日現在）

	全体	65歳以上	60～64歳	50～59歳	40～49歳	30～39歳	20～29歳	12～19歳
豊中市*1	77.8%	90.8%	86.0%	80.2%	75.9%	69.0%	66.1%	52.1%
大阪府*2	69.7%	88.8%	79.0%	74.0%	63.5%	55.4%	51.4%	42.8%

\*1 VRS速報値（資料作成時の値。変動する可能性あり）

\*2 大阪府ホームページより作成。医療従事者等は含まれていない